

とだがわこどもランドの管理運営状況

1 基本情報

<所管局：子ども青少年局>

指定管理者	社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会		
主な業務内容	遊びを通して子どもの健康を増進し、情操を豊かにする。		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定期間	平成30年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 基本事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	
	(2) 開館の実績	供用日・供用時間が遵守されているか。	○	
	(3) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	
	(4) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○	
	(5) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○	
2 維持管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○	
	(3) 清掃業務	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
3 サービス	(1) 自由に遊べる場の提供	子どもが安心して安全に自由に遊べる場が提供されているか。	◎	開館前、開館中とも施設及び遊具の点検・巡回を徹底することで、遊具の不具合等を早期に発見し、安全に遊べる環境が提供された。 感染症対策のため既存の事業の見直しを行い、既存の事業においては会場を広い場所に変更したり人数制限を設けたりし、また新たに屋外での行事を充実させるなどの工夫を行った。なお、25周年イベントも実施。 子育て家庭から要望が高い事業の回数を増やすなど充実を図り、またSNSを活用して事業の様子を発信し新たな利用者の獲得につなげている。その他、臨床心理士の相談会・講演会を引き続き実施することなど、子育て支援活動の充実が図られている。
	(2) 企画事業	館内及びその周辺等で行う、子ども及びその保護者を対象とした行事が適切に実施されているか。	◎	
	(3) クラブ活動	子ども及びその保護者を対象とした継続的に実施する事業が適切に実施されているか。	○	
	(4) 子育て支援活動	子育て家庭の支援を目的とした活動が適切に実施されているか。	◎	
	(5) 中高生の居場所づくり	地域の中高生の居場所としての役割が果たしているか。	○	
	(6) 子どもの遊びに関する中核的な施設としての支援活動	市内各児童館の中核的な役割を担うための情報発信等必要な事業が適切に実施されているか。	○	
	(7) ボランティアの育成・支援に関すること	ボランティアの育成・支援が適切に実施されているか。	○	
	(8) その他の事業	事業が適切に実施されているか。	○	
	(9) 児童の健全育成に関する資料の収集及び情報の提供	事業が適切に実施されているか。	◎	
	(10) 接客態度	接客態度、服装等は適切か。	○	
	(11) 利用者満足度	利用者の満足度等を把握し、サービス向上に努めているか。	○	
	(12) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見や苦情を受ける環境を整備し、迅速な対応ができているか。	○	
4 経費等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	
	(2) 使用料	使用料は適正に収受・管理されているか。	○	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
適切に管理運営されている。 開館前、開館中とも施設及び遊具の点検・巡回を徹底することで、遊具の不具合等を早期に発見し、安全に遊べる環境が提供された。 感染症対策のため既存の事業の見直しを行い、既存の事業においては会場を広い場所に変更したり人数制限を設けたりし、また新たに屋外での行事を充実させるなどの工夫を行った。なお、25周年イベントも実施。 子育て家庭から要望が高い事業の回数を増やすなど充実を図り、またSNSを活用して事業の様子を発信し新たな利用者の獲得につなげている。その他、臨床心理士の相談会・講演会を引き続き実施することなど、子育て支援活動の充実が図られている。 広報誌やウェブサイト、複数のSNSでの周知、マスメディアへの情報提供、近隣の商業施設での移動児童館の実施に併せての周知など、広く情報提供を行っている。

施設の現状

とだがわこどもランド

施設の現状

施設概要

遊びを通して子どもの健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした施設です。
主に次のような活動を行っています。

1 屋外遊具、ホール等で安心して安全に自由に遊べる場の提供

2 創造性を育てる工作や乳幼児を対象とした読み聞かせなど企画事業の実施

3 親子体操など社会性・協調性を育み体力の増進を図るクラブ活動の実施

4 児童館対抗行事の実施

5 児童館職員研修の実施

6 ボランティアの育成・支援

市の収支状況(千円)（令和3年度決算額）

支出

収入

指定管理料

その他

計

使用料

その他特定財源

一般財源

計

利用料金

138,631

4,984

143,615

8,715

14,332

120,568

143,615

—

特記事項

管理運営指標の状況

取組状況

指標

単位

平成30年度

令和元年度

令和2年度

令和3年度

延べ利用者数

人

601,360

542,090

395,670

432,470

企画事業、クラブ活動数

回

2,836

2,558

2,374

2,974

特記事項

新型コロナウイルス感染症対策のため、事業の定員数の縮減、及び一部施設(じゃぶじゃぶ池、いかだ渡り、ボールプール)を休止。

※支出のうち「その他」欄は、新型コロナウイルス感染症対策費、経常修繕費等を記載

とだがわこどもランドにおける指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

<所管局：子ども青少年局>

指定管理者	社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会
主な業務内容	遊びを通して子どもの健康を増進し、情操を豊かにする。
評価対象期間	平成30年4月～令和5年3月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分				特記事項
1 基本事項	30年度	元年度	2年度	3年度	事故発生時の報告漏れや避難訓練の実施回数不足が見られたが、指導後すみやかに全て改善された。
(1) 平等利用	○	○	○	○	
(2) 開館の実績	○	○	○	○	
(3) 情報管理	○	○	○	○	
(4) 職員体制	○	○	○	○	
(5) 法令等の遵守	△	○	○	○	
(6) 事故・災害等への対策・対応	○	△	○	○	
2 維持管理	30年度	元年度	2年度	3年度	老朽化した遊具の更新に関して、自主的に他の公園や施設の遊具設置状況を調べるほか、利用者のニーズをとりまとめて市への提案がなされ、利用者の利便性と安全性の向上が図られた。
(1) 建物・設備の保守点検	◎	○	○	○	
(2) 警備業務	○	○	○	○	
(3) 清掃業務	○	○	○	○	
(4) 備品の管理	○	○	○	○	
3 サービス	30年度	元年度	2年度	3年度	開館前、開館中とも施設及び遊具の点検・巡回を徹底することで、遊具の不具合等を早期に発見し、安全に遊べる環境が提供された。 指定期間を通して、他機関との連携や事業の企画に積極的に取り組み、コロナ禍においても、参加人数の制限を行う代わりに実施回数を増やして対応するなど、参加機会が減らないよう努めたほか、事業内容の見直しや屋外での行事を充実させるなど工夫して運営された。 臨床心理士の相談会等を引き続き実施し、子育て家庭から要望が高い事業の回数を増やすなど子育て支援活動の充実が図られた。 広報誌やウェブサイト、複数のSNSでの情報発信、マスメディアへの情報提供、近隣の商業施設での移動児童館の実施に併せての周知など、広報活動に積極的に取り組まれた。
(1) 自由に遊べる場の提供	◎	◎	◎	◎	
(2) 企画事業	○	○	○	◎	
(3) クラブ活動	○	○	○	○	
(4) 子育て支援活動	◎	◎	◎	◎	
(5) 中高生の居場所づくり	○	○	○	○	
(6) 子どもの遊びに関する中核的な施設としての支援活動	○	○	○	○	
(7) ボランティアの育成・支援に関すること	○	○	○	○	
(8) その他の事業	○	○	○	○	
(9) 児童の健全育成に関する資料の収集及び情報の提供	○	○	◎	◎	
(10) 接客態度	○	○	○	○	
(11) 利用者満足度	○	○	○	○	
(12) 苦情・要望の把握・対応	○	○	○	○	
4 経費等	30年度	元年度	2年度	3年度	
(1) 執行状況	○	○	○	○	
(2) 使用料	○	○	○	○	
(3) 再委託	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）

30年度	概ね適切に管理運営されている。 事故発生時の報告について、協定書等に定められている手順が職員間で共有されていない事例があった。 老朽化した遊具は交換・更新等を実施し、利用者の利便性と安全性の向上が図られた。 開館前、開館中とも施設及び遊具の点検・巡回を徹底し、不具合の発見に努め安全に遊べる環境が提供された。また、乳幼児と中学生が交流を図る事業を新規に実施し、中高生が活躍できる場の提供がなされた。
元年度	概ね適切に管理運営されている。 避難訓練について、実施内容が仕様書に定められた内容を満たしていなかった。 開館前、開館中とも施設及び遊具の点検・巡回を徹底することで、遊具の不具合等を早期に発見し、安全に遊べる環境が提供された。館内の工事に伴う利用者の減少を見越して、近隣の商業施設での移動児童館に新たに取り組むなど、積極的な企画事業の展開がなされた。 臨床心理士の相談会・講演会を引き続き実施し、新たにパパピクスも実施するなど、子育て支援活動の充実が図られている。
2年度	適切に管理運営されている。 開館前、開館中とも施設及び遊具の点検・巡回を徹底することで、遊具の不具合等を早期に発見し、安全に遊べる環境が提供された。 感染症対策のため事業の見直しを行い、会場を広い場所に変更したり人数制限を設けたりと、工夫して事業が行われている。 子育て家庭から要望が高い事業の充実を図ることや臨床心理士の相談会・講演会を引き続き実施することなど、子育て支援活動の充実が図られている。 広報誌やウェブサイト、複数のSNSでの周知、マスメディアへの情報提供、近隣の商業施設での移動児童館の実施に併せての周知など、広く情報提供をしており、また、コロナ禍においては、中止となった事業の代替として、SNSを活用して行事を開催するなど、利用者が様々な場面で情報が得られるように努めている。
3年度	適切に管理運営されている。 開館前、開館中とも施設及び遊具の点検・巡回を徹底することで、遊具の不具合等を早期に発見し、安全に遊べる環境が提供された。 感染症対策のため既存の事業の見直しを行い、既存の事業においては会場を広い場所に変更したり人数制限を設けたりし、また新たに屋外での行事を充実させるなどの工夫を行った。なお、25周年イベントも実施。 子育て家庭から要望が高い事業の回数を増やすなど充実を図り、またSNSを活用して事業の様子を発信し新たな利用者の獲得につなげている。その他、臨床心理士の相談会・講演会を引き続き実施することなど、子育て支援活動の充実が図られている。 広報誌やウェブサイト、複数のSNSでの周知、マスメディアへの情報提供、近隣の商業施設での移動児童館の実施に併せての周知など、広く情報提供を行っている。

3 利用状況等

具体的な取組や成果等

利用者数については、新型コロナウイルス感染症の流行前では、天候や工事の影響を受けながらも、概ね同水準で維持した。流行後は事業の一部休止や遊具の使用停止等がある中でも、感染対策を徹底し、事業においては、内容や会場の変更、1回あたりの参加者数を少なくする一方で回数を増やして参加の機会が減らないよう努めるなど工夫して取り組んだ。

4 収支状況等

具体的な取組や成果等

適切に管理執行された。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移

利用者満足度調査において「満足」「ほぼ満足」と回答した割合は、期間を通じ95%以上の高い水準を維持している。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等

指定期間を通じ、適切な管理運営が行われている。施設及び遊具の点検や巡回を徹底することで、安心して遊べる場が提供された。事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたものの、感染防止対策の徹底や事業内容の工夫等を行ったうえ、施設の特性や利用者のニーズをふまえながら取り組むことにより、利用者に満足いただける結果となっている。また、積極的な広報を行うことで充実した事業運営が図られた。